



図 3.8.4 八代海における *C. polykrikoides* の赤潮発生機構模式図

(2) 赤潮の発生状況等

有明海

有明海における赤潮の年間発生件数は福岡県と佐賀県では横ばいであり、長崎県と熊本県では増加傾向である。年間発生期間は各県とも増加傾向である。1件当たりの日数は福岡県、佐賀県では増加傾向である(図 3.8.5)。また、分類群別にみると年間発生件数、年間発生期間、1件当たりの日数について珪藻、渦鞭毛藻及びラフィド藻のいずれも増加傾向である(図 3.8.6)。

八代海

八代海における赤潮の年間発生件数はC海域及びD海域では1990年代後半からの増加が顕著である。年間発生期間は全海域とも1990年代後半から増加傾向である。1件当たりの日数は全海域とも増加傾向である(図 3.8.7)。また、分類群別にみても、年間発生件数、年間発生期間、1件当たりの日数について珪藻、渦鞭毛藻及びラフィド藻のいずれも増加傾向である(図 3.8.8)。